

Title	学位授与者氏名及び論文題目
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学大学院社会学研究科
Publication year	1975
Jtitle	慶應義塾大学大学院社会学研究科紀要 : 社会学心理学教育学 (Studies in sociology, psychology and education). No.15 (1975.)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	学事報告
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN0006957X-00000015-0077

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

学事報告

学位授与者氏名および論文題目 (昭和49年3月)

修士

社会学修士 (社会学専攻のもの)

- 第245号 一言 憲之 社会科学方法論
—序説—
- 第246号 水沢 泰三 社会成層論におけるプレステ
ィージ概念の測定論的検討
- 第247号 六川 良明 社会進化的パラダイムの再考
- 第248号 呂 碩聰 Process of Diffusion of
Television Receptors in
Post War Japan
- 第249号 佐野 典子 律令体制下の婚姻について
—奈良時代を中心にして—
- 第250号 田中 順久 近代精神と形式
- 第251号 富永 礼子 大正期における地方自治体の
社会調査に関する一考察
—大阪市社会部の場合—
- 第252号 内野久美子 タブーの構造と矛盾処理
—その女性論への適用—
- 第253号 吉原 和男 戦後日本の新宗教運動
- 第254号 吉原 直樹 都市の歴史体制理論
—都市社会学批判序説—
- 第255号 樋口 長雄 経営と支配—Max Weber の
Wirtschaft und Gesellschaft
の“支配の社会学”を中心
に
- 第256号 貝塚 康宣 人口の社会的セグメンテーシ
ョン
—その方法と研究例—

文学修士 (心理学専攻のもの)

- 第257号 実森 正子 デンショバトの色覚
—混色の吟味—
- 第258号 金沢 広子 人間における情報検索過程：
長期記憶
- 第259号 小林ボオル 確率過程におけるパラメータ
—変化の人間による検出
- 第260号 小美野 喬 デンショバトの連続逆転学習
- 第261号 瀬島淳一郎 骨格筋反応統制下における自
律反応の変容に関する一実験

—GSR と意識的媒介を中心
として—

- 第262号 田所真知子 コンピュータシミュレーションによる概念学習の研究
- 第263号 三好 隆史 自閉児の音定位行動に関する
一実験
- 第264号 山脇 章子 頭の良し悪しの判断 (知能評
価) に対する因子分析法の適
用について

教育学修士 (教育学専攻のもの)

- 第265号 岩田 茂子 The effects of delayed in
formation feedback and
verbalization on conceptual
learning in Kindergarten
children
- 第266号 須永 和宏 自閉症児に関する教育学的考
察
- 第267号 杉浦喜久代 文章完成法による自己概念の
分析
—中学生の場合—
- 第268号 依木浩太郎 カントの教育思想
—“Idee”と“Kunst”につ
いて—
- 第269号 渡辺富佐子 ベンダー・ゲシュタルト・テ
ストの妥当性の研究
- 第270号 新居 基昭 子どもの健康保障についての
一考察
- 第271号 エリザベス・ジェーン・スウェー Attitudes toward the Status,
Role and Education of Wo
men in Japanese Society:
The Views of Kaibara
Ekiken and Fukuzawa
Yukichi.
「女性観」と「教育意識」
貝原益軒、福沢諭吉の女性観
をめぐって